

ヨーロッパ思想演習

2単位 (選択) 3年 (後期), 4年 (後期)

山口 裕之・准教授 / 人間文化学科

【授業目的】 哲学思想についての深い理解にもとづき、学術論文を作成する能力を身につける。

【授業概要】 主にフランス近代哲学 (18世紀経験論哲学) について研究します。今年度は、Condillac, La Logique, ou les premiers développements de l'art de penser という本を読んでいます。18世紀のフランスは、民主主義の思想や近代経験科学 (自然科学) など、現在の思考の枠組みが形成された時代です。そうした時代の哲学を学ぶことで、自らが依って立つ枠組み自身を反省する視点を身に付けることを目標とします。今までの卒論のテーマは、「性と生: フーコー権力論を手掛かりに」「ヒュームの自我論: 『人間本性論』における自我の整合的解釈へ向けて」などです。3年生のうちは、哲学史の全体像を理解するため、中央公論新社『哲学の歴史』12巻を通読する予定です。

【キーワード】 哲学, フランス

【先行科目】 『哲学・思想の基礎』(0.9), 『ヨーロッパ思想研究』(0.9), 『環境倫理学』(0.8), 『人間と生命/生命倫理学研究』(0.8)

【履修上の注意】 受講登録する前に相談にきてください。

【到達目標】

1. 人文科学 (哲学) に関わる幅広い知識の理解。
2. 日本語で論理的文章を書くことができる能力を身に付ける。
3. 日本語の論理的文章を理解する能力を身に付ける。

【授業計画】

1. 哲学の歴史 7:18-19 世紀
2. 同上, 2 回目
3. 同上, 3 回目
4. 哲学の歴史 8:18-20 世紀
5. 同上, 2 回目
6. 同上, 3 回目
7. 哲学の歴史 9:19-20 世紀
8. 同上, 2 回目
9. 同上, 3 回目
10. 哲学の歴史 10:20 世紀 1
11. 同上, 2 回目
12. 同上, 3 回目
13. 哲学の歴史 11:20 世紀 2

14. 同上, 2 回目

15. 同上, 3 回目

【成績評価】 授業での発表, 学期末のレポート (12巻を読んで報告する)

【再試験】 なし。

【教科書】 中央公論新社「哲学の歴史」7-12巻

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220156>

【連絡先】

⇒ 山口 (共通教育 4号館 404(11年3月まで), 088-656-7615, yamaguti@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 火曜10:30-11:30)